



提案団交
終了

2020年度冬期提案を受ける！

10月16日地本は、支社より2020年度冬期の取り組みについて提案を受けました。昨冬期は暖冬小雪であり効果検証ができなかったため、2019年度の取り組みを継続しながら新たな課題についても克服に向けて取り組む内容となっています。

これまでの冬期検証交渉等で組合が提起してきた信越線柏崎～長岡間において臨時単行機関車の運転や、ディスクブレーキ凍結対策として車掌の誘導による起動確認を必要な日のみ実施することなど、前進した内容となった面も見受けられますが、本当に働く現場の労働者にとって万全な体制となっているのか、今後関係する組合員と議論を深め、申し入れも視野に入れて取り組みを作り出します。

◆ 提案項目(一部抜粋) ◆

● 冬期における社員運用計画 ●

○営業関係の多客対応はコロナウイルスによるお客さまの減少を予想し、昨年度より削減する。

・越後湯沢駅 1(昨年度3) ・ガーラ湯沢駅 4(昨年度5)

○輸送対応、運輸関係は昨年と同数とする。

・越後湯沢駅 2 ・小国駅 1 ・十日町駅 5

・長岡車両センター 3 ・輸送課指令室 10

● パンタグラフ凍結対策 ●

○トロッコ線塗油(凍結発生履歴を基に、塗油区間の追加、見直しを検討)

○臨時単行機関車列車の運転を計画(長岡～越後中里間、柏崎～長岡間)

● ディスクブレーキ凍結対策 ●

○乗務員による停泊留置車両の起動確認を実施。

(石打駅、新発田駅、村上駅、柏崎駅、吉田駅)

万全な冬期体制実現に向け、職場から運動を作り出そう！